

# 第5次 桂川町 総合計画



町の発展には、行政と町民がともに、  
町の進むべき方向と目標を明らかにし、  
その実現に向けて、それぞれの役割に応じて、  
主体的にまちづくりを進めていくことが求められています。  
将来、私たちの桂川町をどのような「まち」にしていくのか、  
そのためにどのような「こと」をしていくのかを  
総合的・体系的にまとめた町の最上位計画、  
それが第5次桂川町総合計画です。

本町では「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念としてまちづくりを推進しています。

豊かな自然と人が共生し、町民が快適な生活環境の中で、安心して暮らせるよう、行政と町民がともに支え合い、  
伝統文化・地域コミュニティ産業を守り育てていくまちを目指します。

王塚古墳などの歴史遺産、豊かな森林や農村の原風景、笑顔があふれる温かい人情などは、本町のかげがえのない財産であるとともに、現代社会において求められている自然と親しみ、家族や故郷を愛する心の豊かさを実感できる魅力でもあります。小さい町の特性を生かしコンパクトでも利便性の高いまちづくり、輝きがあり夢や希望が語り合える魅力ある人づくり・まちづくりを推進していくとともに、これらの情報を積極的に発信することにより、幅広い人・モノの交流や定住化を促進していきます。

これらを踏まえ将来へ向けたまちづくりの指標として第5次桂川町総合計画では、まちづくりの将来像を「協働で未来(夢)を拓く笑顔あふれるまち『けいせん』」と定めます。